

# 全国連盟通信

第31期 No.4  
2015年1月1日  
発行責任者  
和食昭夫



新日本スポーツ連盟

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Eメール: zenkoku@njsf.net URL http://www.njsf.net

つなごう 支援の輪

## 2015年の年頭にあって

新日本スポーツ連盟会長 永井 博



新日本スポーツ連盟の創立50周年の年、2015年が明けました。年明けは、やはり「おめでとうございます」と挨拶すべきでしょうが、今年はちょっと違って「創立50周年を運動と組織の前進の中で迎えよう」の呼びかけを、受けとめながら決意を新たにしているところです。

創立50周年を画する活動の柱に、7大記念事業があります。その一つである「スポーツ科学研究所」は昨秋設立され、本格的な活動を開始しています。残りの6つの事業は、2月に開催される評議員会で、つめた論議がされます。連盟の総力が結集できるよう、評議員会で議論を深め、方針を練り上げましょう。

評議員会といえ、想起し、確認しなければならないことがあります。「第31期第1回評議員会(2015年2月開催)までに2,500部を実現するために各連盟組織が自主目標を立てて取り組む」という、『スポーツのひろば』の価格の検討と普及についての第31回全国総会決議です。

俳優で作家でもある中江有里さんは、「読書は、読解力、想像力を鍛え、人生を豊かにしてくれる実学だと思う。また読書は自分をあらわにする。読書は一人で行うため、手を休めて考えることも出来る。このように読書という行為は、想像力だけでどんなに遠い場所へでも行けてしまう。逆に自身の心の深いところへ行き、思わぬ自分を発見することもある」と、書いています。

みなさん、『スポーツのひろば』のなかに、思わぬ自分を発見するとともに、ページをめくる楽しさを周りの仲間へ広げてください。小さな努力を重ねて、2,500部の目標を達成しましょう。あと300部あまりです。

総会決議には、『『スポーツのひろば』は連盟そのものです』とも書かれています。『ひろば』を広げることは、連盟そのものの飛翔です。そればかりではありません。わが国のスポーツ評論の開拓者・川本信正(故人)さんは、『『スポーツのひろば』はわが国スポーツ界の良心の灯だ』と表現されました。2,500部達成は、この灯の輝きを一段と大きくすることなのです。灯台の輝きが増すのです。

すべての組織の取り組みで2,500部を成し遂げて評議員会を迎え、深い論議を尽くすことができるならば、創立50周年に課せられた諸々の課題を前進的に、かつ成功的に切り開いていく高らかな号砲となるでしょう。



『スポーツのひろば』はわが国スポーツ界の良心の灯

第31期第3回理事会は、2014年12月13日、14日の2日間、東京のスポーツ連盟事務所をメイン会場に直前の三役会議を含め、大阪・神奈川・京都・北九州の各連盟事務所および理事の自宅4カ所をスカイプ（パソコンによる音声・映像通話）で結び、会議を実施しました。参加は、理事24名と会長・副会長3名でした。



スカイプの画面



スカイプ会議の様子

音声を頼りにディスプレイ画面を見ながらのスカイプ会議は、若干の回線接続に手間取りましたが、前回の理事会で2時間の演習をしたのが功を奏し、活発な発言で予定議事を無事に終えることができました。また、会議費用が前回43万円から今回8万円となり、経費を大幅に削減。遠方から出席した理事は、交通移動短縮や部分参加などで時間の有効活用を図ることができました。

是非、各組織機関でのスカイプ会議の導入・普及を期待します。（スカイプについて、全国連盟へ気軽にお問い合わせください）右記は、理事会で確認した主要事項です。（事務局長・福島邦夫）

## 評議員会に向けて

今回は、初の試みとしてスカイプによる理事会を行いました。各理事の方々の努力と協力でおおむね「成功」したといえるでしょう。

理事会の目的は、9月の第2回理事会後の活動をふまえて、2015年2月21～22日の第1回評議員会に提案する主要な議題を準備することでした。ここでは、会議全体で感じた点について意見を述べたいと思います。

第30回全国スポーツ祭典はすでに13種目が終了し、東海ブロックをはじめ各全国種目組織の奮闘で、全体として規模の面での広がりとともに、競技水準の面でも着実に向上していることが報告されています。残る2種目の成功とともに、祭典成功を連盟の組織強化につなげましょう。

全国総会以来継続して力を入れてきた「スポーツのひろば」普及の到達は、228部増加し2163部となっています。2月の評議員会までに2500部を実現するためにはあと337部の普及が必要です。そのためには、それぞれの連盟が自主的に立てた目標（全国的には30%増）をお互いにやりきることが確かな保障です。もう一回り多く

### ①全国スポーツ祭典

- ・第30回祭典の最終実行委員会を2月7日に開催し、その結果を踏まえて第1回評議員会に「中間報告」として提起する。
- ・第31回祭典（2016年）は、関西ブロックを中心に開催する。
- ・第32回祭典（2018年）は、東北ブロックと北海道での開催方向で検討を要請する。同時に中国、四国、九州地方の共同開催ならびに関東ブロック開催も含め検討する。

### ②反核平和マラソン

- ・「被爆70年2015年東京～広島～長崎1500km反核平和マラソン」開催におけるブロック担当者会議を、第1回評議員会の中で行う。
- ・「第1回福島～東京300km反核平和マラソン」を全法務労組や福島民医連、国交労連などの参加、協力を得て2015年7月24～26日に開催する。

### ③国際活動

- ・2012年広島～長崎反核平和マラソンに参加したFSGTのイザベル、エルベ両氏から、「2015年8月、クラブの青少年20～25人で構成する研修団を日本に派遣したい。その際、広島～長崎反核平和マラソンへの参加を強く望んでいる（在日フランス大使館の後援承諾有り）。この点でのNJSFの承諾と協力をお願いしたい」との要請に、協力することを決定する。

### ④「スポーツのひろば」

- ・評議員会まで2500部の普及をやり抜く。

### ⑤「サマースポーツセミナー」

- ・開催を含めたあり方について、地域（ブロック）開催を基本とし、2016年から各ブロックへの補助金を予算化する。

### ⑥若手や女性の登用

- ・第2回「若手懇談会」を開催する。
- ・女性委員会（仮称）を発足し、「女性分野に関するアンケート」を実施する。

のクラブ・会員の方々に「スポーツのひろば」宣伝誌を渡し一声かけて購読をお願いしましょう。評議員会に向けて全力をあげて取り組むことを訴えます。

11月8日、新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所が設立されました。連盟50年の歴史的到達点でありかつ市民のスポーツの科学の新たなスタートです。研究者との共同を育んでいきましょう。

12月8日、I O C臨時総会は「アジェンダ2020」を決定しました。開催都市への過大な財政負担の軽減や複数都市・国での開催など、将来にわたって持続可能な五輪とするための新たな指針が打ち出されました。その内容の多くはスポーツ連盟が、これまで主張してきたことと一致するものとなっています。オリンピック運動は新たな転換期を迎えています。東京都連盟を中心に2020東京五輪を持続可能な五輪の試金石として成功させるよう一層の努力をすすめてみましょう。

最後に、評議員会までに「スポーツのひろば」普及目標を達成し、2015年度の連盟組織拡大の自主目標を決めて参加するよう奮闘を訴えます。（理事長・和食昭夫）



## スポーツ組織・活動局

### 「スポーツ懇談会」を積極的に

広島県連盟つくりは、新日本スポーツ連盟広島県連盟結成準備会を立ち上げ、西日本の拠点として2014年中の結成をめざし努力が続けられていました。しかし、8月20日に広島市北部を襲った集中豪雨による土砂災害が発生し、この取り組みに関わってきた方々の多くは、土砂災害への支援活動に全力をあげている状況です。「2014年組織拡大交流会議（西日本）」は、この広島県連盟結成総会に併せて開催する計画でしたが、予定していた結成準備会の会議も開催できなくなり、断念することになりました。

2015年の組織拡大強化についての方針は、以下の通りです。

- ①「スポーツ懇談会」を積極的に開催。中国ブロック（広島）、東北ブロック（福島）、関東ブロック（茨城）、東海ブロック（静岡）の4案を計画します。中国ブロックはスポーツ活動・組織局が立案執行し、他はそれぞれのブロックを通じて開催していきます。
- ②「組織拡大交流会議」は、広島県連盟の結成状況で開催可否を検討します。
- ③「若手懇談会」や「女性委員会」を支援していきます。



広島がんばろう 卓球大会

- ④ブロック会議（活動）を今まで以上に、組織強化拡大の活動促進のため、施策と予算を検討していきます。

全ての種目組織と地域組織が生き生きと活動するために、前回総会でかかげた「暖かさと連帯に充ちたスポーツの仲間づくり運動をダイナミックに進めよう」との方針をいっそう具体化し推進していきます。

（スポーツ組織・活動局長・福島邦夫）

## スポーツ権・平和運動局

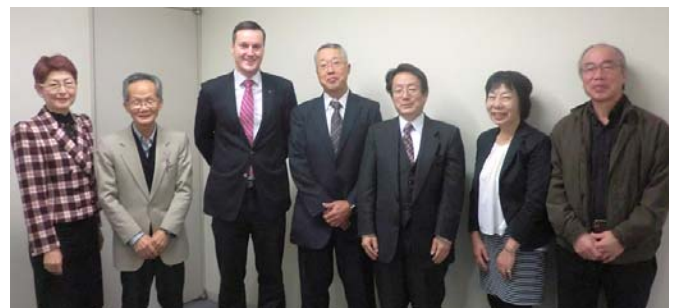
### 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて

現在、「2020オリンピック・パラリンピックを考える都民の会」として運動を展開しています。大会組織委員会がI O Cへ「開催基本計画」を提出する期限である2015年2月が大きな節目です。それまでに市民の声として「本来目指さなければならないオリンピック・パラリンピック」になるように運動を展開しています。

競技会場計画は「オリンピックムーブメントアジェンダ21」の指針に沿ったものとなるように、原則的に既存施設を利用し、新たに整備する施設は周囲の自然や景観を損なうことなく整備しなければならないということに従った施設計画になるように東京都と組織委員会に求めています。

#### [2015年度の方針]

2014年12月8日I O C臨時総会（モナコ）で「オリンピックアジェンダ2020」という新たな指針が採択されました。これは、2020年以後も未来にわたって持続的に発展することを展望した新たな指針であり、2020年のオリンピックの準備もこの「アジェンダ2020」の40項目に準拠した形で準備されなければなりません。オリ



I O Cのロックスパーグ氏（左から3人目）と面談その隣り（左から4人目）が萩原さん

ピックが、都市の経済を豊かにするためのものではなく、平和と友好を育み、人類の最高のパフォーマンスへの挑戦、スポーツ権をより具体的に保障する大会にすることを求めて、運動を展開していきます。

競技施設については、既存施設を最大限使って、無駄なく、そして後利用をしっかりと計画したものとして整備することを引き続き求めています。

また、日本の8月の気候は、スポーツをすることは原則禁止、あるいは嚴重警戒の時期であり、選手の最高のパフォーマンスを引き出す環境ではないことから、開催期間を少しでも後にするように変更を求めること、パラリンピックのスポーツ環境を整えること、障害者の社会参加の環境を整えることなども要請していきます。

（スポーツ権・平和運動局長・萩原純一）

## 国際活動局

2015年

# 5月と10月にFSGTと交流

フランスとの国際交流事業については、FSGT80周年記念事業の映画祭(2014年12月)に伊藤高弘顧問が招待されるなど活発に交流しています。2015年の5月にはFSGT80周年アッシーズ(国際会議)、10月には80周年記念事業が予定されているので、スポーツ連盟からの派遣を現在検討中です。

韓国市民連帯とは、2015年の反戦反核平和マラソンへの参加や、東京～広島～長崎の反核平和マラソンの招待内容をこれから明確にしていきます。

日仏韓の交流が、日本国内だけでなく、フランスや韓国でもできそうな広がりを見せています。

2015年の広島～長崎反核平和マラソンには、新たにフランス・スタン市から青少年(20～25人)の参加計画もあり、協力していくことを確認しました。この計画は、スタン市のESSクラブに所属する青少年を日本に派遣する研修プロジェクトで、2012年広島～長崎反核平和マラソンに参加したFSGT代表団のイザベルとエルベ両氏から協力の要請がありました。新たな交流のきっかけの可能性を感じます。



フランス・FSGT国際会議の様子(2004年)

東アジアの交流も検討していますが、以前から打診があった中国大連市とのスポーツ交流は、方向性の違いから断念しました。中国については、国の情勢を分析しつつスポーツ交流の可能性を追求したいと思います。

創立50周年記念事業の国際シンポジウムには、東アジアの国にも参加案内を出す予定です。2014年11月に広島で開催された「アジア山岳連盟総会」に参加できたのは、50周年記念国際シンポジウムを開催する参考になりました。(国際活動局長・小林章子)

## 広報局 「ひろば」

# 2500部達成にむけて

2014年、広報局はアンケートを実施して、全国通信・リーフレット・「スポーツのひろば」・ホームページが各地でどの程度普及され、どのように活用されているかを調べました。その結果、

- ・全国通信は“紙”よりも“データ”派
- ・各組織でオリジナル宣伝物の需要がある
- ・もっと『ひろば』を拡大できそうな地域・種目がある
- ・ホームページを持っているのは50%、更新が悩みなどの傾向を把握することができました。

具体的な活動としては、独自リーフレット製作の案内、フェイスブック・ツイッターの開設を実施しました。ただし、各組織の要望に応じた広報活動としては、まだ不十分ですので、2015年の課題したいと思います。

「ひろば」普及運動については、「普及ニュース」を7回発行し、「宣伝用バナー」や「立ち読みコーナー」を用いてインターネットでも宣伝し、活発な取り組みをしてもらうよう訴えました。それに呼応して、各組織が普及に取り組んだ結果、3月の全国総会以降230部プラスという成果が出ました(現在2165部)。これは、多くの方にご協力いただいたおかげです。ありがとうございます。

そこでこの1年間、頑張って普及拡大した組織に感謝と敬意と込めて、ささやかですが功労賞をお贈りするこ

## 2014年度 「ひろば オブ ザ イヤー」

- ①一番伸びたで賞  
増減率 No. 1 の都道府県連盟に
- ②一番増やしたで賞  
増誌数 No. 1 の都道府県連盟に
- ③目標達成したで賞  
目標を達成したすべての都道府県連盟に
- ④たくさん普及したで賞  
20部以上増誌した都道府県連盟に
- ⑤なかなか増やしたで賞  
10～19部増誌した都道府県連盟に
- ⑥がんばりましたで賞  
1～9部増誌した都道府県連盟に



※対象は、都道府県連盟(準備会も含む)  
※2015年2月20日での申請部数で授賞組織を決定  
※詳細は、各連盟組織にメールで送付しています(12/24)

とになりました。題して、「ひろば オブ ザ イヤー」です。No.1だけでなく、いろいろな賞を予定しています(上記参照)。2500部の目標にむけて、2015年も「ひろば」の普及拡大にご協力のほどよろしくお祈いします。

(広報局長・佐藤信樹)



# 第30回全国スポーツ祭典の中間報告



## 東北復興支援大会として

第30回全国スポーツ祭典は残すところ卓球の年代別大会とスキー競技大会だけとなりました。

今祭典も第29回祭典に続いて東北復興支援として取り組まれました。まだ多くの方が避難生活を余儀なくされています。この祭典を通じて、「東日本大震災をを忘れない」という思いを発信し、被災者の励みにすることができたと思います。

全国卓球協会は、東北全県で予選を開催しようという取り組み、宮城県以外の5県で県祭典を開催することができました。また、一般の部には東北全県からエントリーがありました。他にも、復興支援として福島バドミントン大会が継続して開催されています。

## 全国祭典のひろがり！

全国祭典のひろがりはどうであったかとみる場合、各県の地方祭典の参加状況も把握する必要があります。ここでは全国祭典に限定して述べたいと思います。

今回、東海地方での開催ということで、ソフトボール大会では初めて新潟、長野、岐阜からエントリーがありました。また、卓球の年代別大会で福井からのエントリーがありました。このように今回は、北信越からの参加は増えたのではないかと思います。一方、中国や九州地方からのエントリーは少ないです。また、予選会で代表になっても、費用や休暇の面でエントリーまで結びつかない状況があります。

ウォーキングは、全国ウォーキング協議会の総力を挙

げた取り組みで、これまでの最高規模の参加者で成功しました。

## 競技・レベルの点では

競技・記録の面では、水泳大会で多くの新記録が生まれました。卓球の年代別大会では、全日本マスターズの60代チャンピオンのエントリーがあり、レベルも着実に向上してきています。

## 協力・共同の広がり

ソフトボール大会では、地元富士宮市ソフトボール協会の協力を得ることができ、審判員の派遣や雨のあとのグラウンド整備に多大な尽力をいただきました。

## 祭典グッズの販売状況

復興支援グッズのハンドタオルは、地方大会の賞品にするなどいろいろな形で取り組まれ、9105枚(12/2現在)が活用されています。

## 今後の最終のまとめに向かって

2月7日の最終実行委員会に向けて、それぞれの種目の祭典の総括を進めます。参加数だけでなく、今回の祭典の特徴のコメントもお願いします。

ポスター、賞状、共通プログラム、横断幕などの活用、共通会計決算、各種目決算を行い、次の祭典に引きついでいきたいと思っています。(スポーツ活動・組織局・北川登)

# スポーツ科学研究所 設立される

新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所が、2014年11月8日に東京・アルカディア市ヶ谷で設立されました。設立総会には55名、シンポジウムに68名、記念パーティは46名の参加がありました。スポーツ科学研究所設立にあたってご援助をいただいた方々に厚く御礼申し上げます。2014年12月3日現在で募金総額は519万円となりました。入会者は45名です。

設立総会は、中村哲也さんと佐藤信樹さんの司会のもとに、以下のプログラムで開催しました。

1. スポーツ科学研究所設立総会開会の挨拶（青沼裕之）
2. 来賓祝辞（川口智久さん）
3. メッセージの紹介（波多腰克晃さん）
4. スポーツ科学研究所の趣意書・規約の提案（永井博さん）
5. 事業計画と人事案の提案（青沼裕之）
6. 財政計画の提案（和食昭夫さん）
7. フロアからの質問・意見、各々の提案の採決
8. 総会閉会の挨拶（山崎健さん）

記念シンポジウムは、中村英仁さんと中村哲也さんの司会のもとに、中村英仁さんのあいさつとシンポジストの紹介によって開会されました。全体テーマは、「2020年東京オリンピック・パラリンピックが市民に残すものは何か」です。

シンポジストのお名前とテーマは以下の通りです。伊多波良雄さん「2020東京オリンピック・パラリンピックの経済的インパクト」、松林秀樹氏さん「2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて首都東京はどうなる」、塩家吹雪さん「2020東京パラリンピックと障がい者スポーツ振興を現場から考える」。

シンポジストの報告の後、フロアからの質問と発言を受け、それに対するシンポジストの回答という流れで、短時間ながら議論を深めました。中村哲也さんのあいさつで閉会となりました。

（スポーツ科学研究所事務局長・青沼裕之）



## スポーツ科学研究所 執行機関

### 1. 運営委員会の構成

所長：山崎健（新潟大）、副所長：山下高行（立命館大）、和食昭夫（スポーツ連盟理事長）、事務局長：青沼裕之（武蔵野美術大・スポーツ連盟副理事長）、運営委員：秋本信孝（元高校体育教師）、市井吉興（立命館大）、神谷拓（宮城教育大）、間間至（スポーツ連盟理事）、功刀俊雄（奈良女子大）、坂なつこ（一橋大）、佐藤信樹（スポーツ連盟広報局長）、棚山研（羽衣国際大）、中村哲也（早稲田大）、中村英仁（一橋大）、宮内泰明（東京都連盟事務局長）

### 2. 研究年報編集委員会の構成

編集委員長：坂なつこ、編集委員：青沼裕之、青野桃子（一橋大院生）、市井吉興、佐藤信樹、中村英仁、波多腰克晃（日本体育大）、早川みどり（武蔵野美術大学非常勤）

### 3. 事務局の構成

事務局長：青沼裕之、事務局員：宮内泰明、渡辺富子（嘱託局員） —以上敬称略

## 第31期 第1回評議員会のお知らせ

日時 2015年2月21日（土）14時～2月22日（日）16時  
会場＝武蔵野美術大学・新宿サテライト（新宿センタービル9階）  
東京都新宿区西新宿1-25-1 TEL：03-3343-6311・6312

### 予定議題（順不同）

- （1）第31回全国総会後の活動と2015年度の重点方針案
- （2）各全国種目組織、都道府県連盟の活動報告
- （3）第30回全国スポーツ祭典の中間総括・中間決算
- （4）創立50周年記念7事業の報告
- （5）新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所の報告
- （6）2014年度決算。ランク別分担金制度について。2015年度補正予算案。
- （7）その他

出席対象：①評議員 ②理事 ③会長、副会長 ④監事

第31期第1回評議員会は、左記の日程で開催されます。

評議員会は、総会に次ぐ決議機関であり、理事会が提案する議案を審議し決定する役割をもつものです。

今回の評議員会は、2014年3月の第31回全国総会後の活動の総括と2015年度の重点方針と計画を検討し、決定するための会議となります。

なお、評議員は「各連盟組織の代表」としての性格を持っていますので、本人が出席できない場合は、必ず「代理出席」の手配を行なってください。





# 創立50周年7大記念事業の進捗状況

## 記念レセプションを

2015年11月7日(土)に開催します

会場決定：王子 東武サロン  
北とぴあ16F 天覧の間  
〒114-0002 東京都北区王子 1-11-1

## 功労者、功労クラブを表彰します



スポーツ連盟の発展を支えた、連盟の結成前後からスポーツ連盟の運動に寄与された方やその後の活動に多大な貢献をなした個人、団体を表彰します。

<申請方法について>  
全国連盟、都道府県連盟、全国種目組織から推薦を受け、所定の申請用紙に基づき申請する。

<募集期間>  
2014年12月～2015年5月まで。2015年の8月の理事会で発表。

## 国際シンポジウムを

フランス 韓国の代表を招待し開催します

会場決定：北とぴあ14F スカイホール  
〒114-0002 東京都北区王子 1-11-1



6ページ

## スポーツ連盟附属 スポーツ科学研究所を設立

11月8日発足!

## 「新日本スポーツ連盟50年史(仮称)」を発刊する

原稿執筆中：【通史編】【証言・コラム編】【活動年表】 総計 400字×625枚

記念レセプションにて配布

## 被爆70年東京～広島～長崎反核平和マラソンを開催します

(韓・仏代表団を招待)

ブロック担当者会議を、2月の第1回評議員会の中で行います。

## 記念グッズの作成・販売する

男女兼用  
5サイズ  
SS  
S  
M  
L  
LL



ロゴ入りポロシャツ  
好評インターネット販売中  
<https://njsf50th.stores.jp>

記念フェイスタオルの販売  
2015年1月～  
都道府県連盟より販売開始  
1枚300円

写真で見るスポーツ連盟の歩み



新日本スポーツ連盟のFacebookで公開中

第31期全国会議及び主要事業予定一覧（2014年12月末～2016年3月）

【2014年】

月 日	全国会議・事業	都道府県連盟・全国種目組織
12月 13～14日	31期第3回三役会議・理事会スカイプ会議	
27日(土)～	年末休み 年始1月5日(月)	

【2015年】

1月	4日	全国縦断新春マラソン：大濠（福岡）	
	7日	ひろば企画編集委員会	
	11日	全国縦断新春マラソン：神奈川、東海（愛知）わかやま、大阪、武庫川（兵庫）、北九州	
	18日	全国縦断新春マラソン：滋賀	
	24日	関西ブロック会議	
2月	24～25日	全国スポーツ祭典卓球大会年代別（愛知）	
	7日	東北ブロック会議、第30回全国スポーツ祭典最終実行委員会（愛知）	
	14～15日		全国スキー協カッパ
	21～22日		労山評議会
	21～22日	31期第1回評議員会・第4回理事会（武蔵美新宿サテライト）	
28日(土)～	全国スポーツ祭典スキー競技大会（戸狩温泉）		

4月	11～12日	31期第5回理事会	
8月	29～30日	31期第6回理事会	
11月	7日	50周年記念事業（国際シンポ、レセプション）	
	7～8日	31期第2回評議員会・第7回理事会	
12月	12～13日	31期第8回理事会	

【2016年】

2月	13～14日	31期第3回評議員会・第9回理事会	
3月	12～13日	32回定期全国総会	

\* 追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。

東北復興支援 「義援金」報告

2014年12月25日現在

義援金募金 2011年3月～ 全国連盟口座への振り込み分

A義援金(スポーツ連盟支援募金)	募金 合計	9,894,375円
*FSGTからの支援募金の合計 890,011円を含む		
B義援金(公的機関への募金)	募金 合計	178,976円
2011年12月8日朝日新聞厚生文化事業団へ送金		

A義援金(スポーツ連盟支援募金)充当状況 2011年3月～

被災者お見舞金	3,620,000円
宮城県・岩手県連盟支援金(活動支援、事務所維持支援)	1,983,270円
東北連盟支援金(全国分担金、「スポーツのひろば」誌代)	827,179円
行事・競技会、ボランティア活動への支援金(2012年3月～)	1,772,605円
充当 合計	8,203,054円

募金 残高	1,691,321円
-------	------------

「広島災害募金」報告

2014年12月25日現在

日付	組織名	金額	合計
9月7日	全国理事会	40,147	40,147
9月10日	東京卓球協	30,000	70,147
9月25日	愛知卓球協	12,964	83,111
9月29日	愛知卓球協	34,959	118,070
9月29日	福岡県連盟	10,000	128,070
9月29日	福岡・松岡和生	1,000	129,070
10月14日	全国ウォーキング (フェスティバル)	82,862	211,932
10月16日	岩手卓球協議会	6,000	217,932
10月20日	岡山卓球協議会	50,000	267,932
10月29日	北九州ランニング6名	3,400	271,332
10月30日	愛知スキー協	13,606	284,938
12月11日	愛知バスケット	3,717	288,655
12月19日	北九州卓球協議会	10,000	298,655

第31回定期全国総会資料(2014年3月15-16日)以降の内訳

義援金募金

A義援金(スポーツ連盟支援募金)

富山パークゴルフクラブ	2014/2/21	9,200
月例湘南マラソン運営委員会	2014/3/15	48,899
大阪府卓球協	2014/5/20	508,508
和歌山平和大好きマラソン大会	2014/7/8	6,643
広島長崎反核平和マラソン実行委員会	2014/10/3	20,000

A義援金(スポーツ連盟支援募金)充当状況

宮城県・岩手県連盟支援金(活動支援、事務所維持支援)

宮城県連盟	2014/11/19	500,000
-------	------------	---------

行事・競技会、ボランティア活動への支援金

全国子どもスキー	2014/5/20	400,000
女川ボランティア助成7/8-10	2014/7/8	100,000
全国卓球福島県大会	2014/10/23	150,000

「復興支援第17回福島スポーツ祭典卓球大会」を助成しました



善意の支援グッズ(200点以上)を地元の参加者に提供しました

多くの方からの義援金をいただきました。ご協力ありがとうございました。